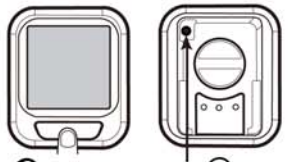
BCP-04C

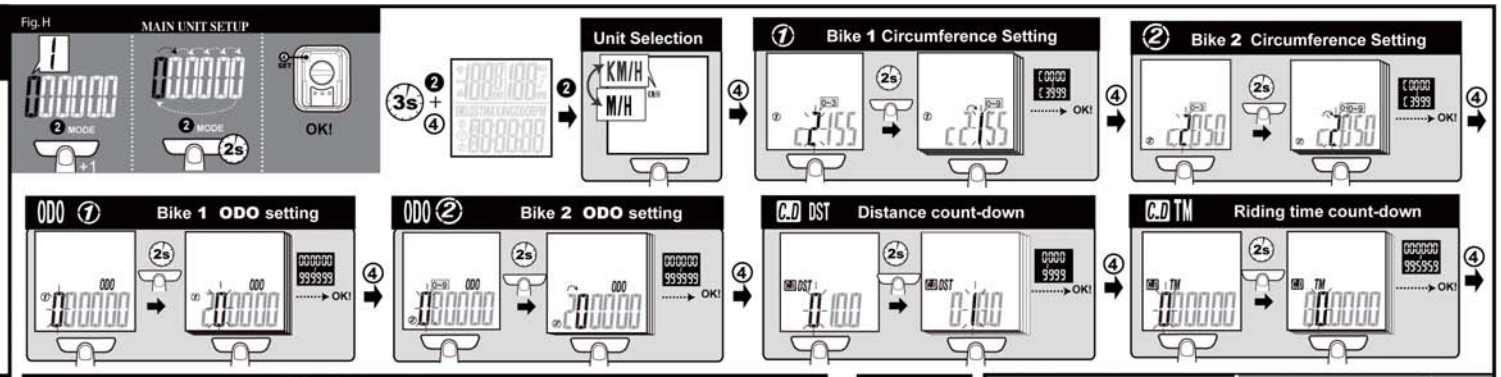
BBB



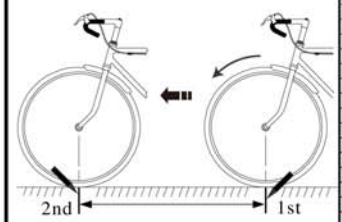
BATTERY CHANGE

INDEX:

Ⓝ㉒ Means press button **N** more than 2 seconds
Ⓝ Means press button **N** quickly.
N =KEY NUMBER:[❷:**Mode** Button, ④:**Set** Button]

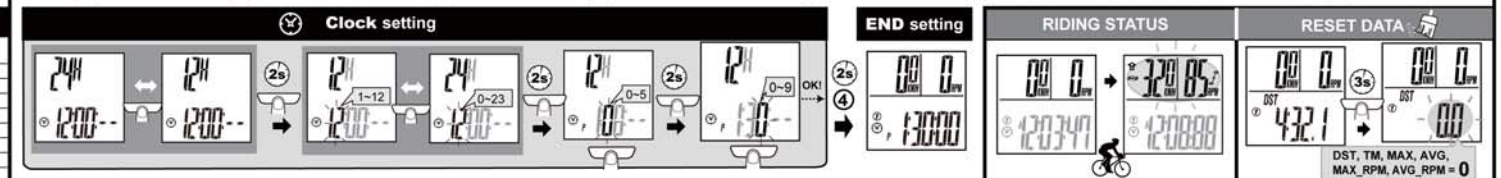


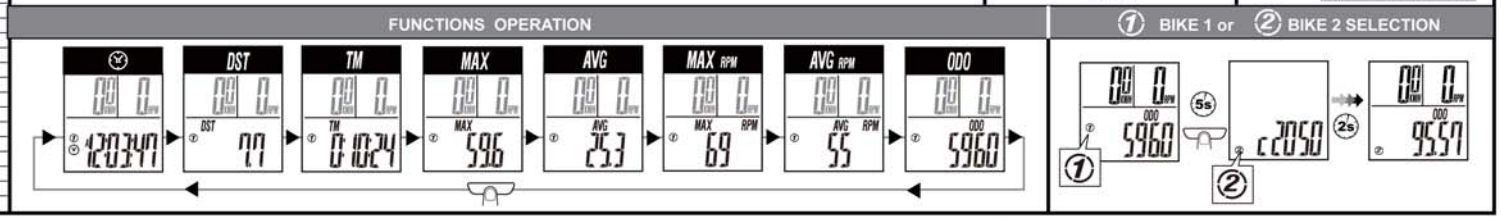
a. WHEEL CIRCUMFERENCE



b. POPULAR TIRES CIRCUMFERENCE REFERENCE TABLE

Tire Size	Circumference Nunber
18 Inch	1436 mm
20x1.75	1564
20 Inch	1596
22 Inch	1759
ATB 24x1.75	1888
24 Inch	1916
24x 13/8	1942
ATB 26x1.40	1995
ATB 26x1.50	2030
ATB 26x1.75	2045
26Inch (650A)	2073
ATB26x2.0(650B)	2099 mm
700C TUBULAR	2117
700x20C	2092
700x25C	2124
700x28C	2136
27 Inch(700x32c)	2155
700x35C	2164
700x38C	2174
27.5 Inch	2193
28 Inch (700B)	2234
28.6 Inch	2281





Japanese

<設 定 方 法>

オールクリア

モード❷＋ セット④ボタンを同時に押し3秒間保持してメインユニットを再スタートして下さい。

設定方法

モード❷ボタンを押して選択して下さい。

設定項目変更

モード❷ボタンを押して2秒間保持して下さい。

設定機能変更

セット④ボタンを押して次の機能に変更して下さい。

設定モード終了

セット④ボタンを押して2秒間保持して下さい。

<表示操作方法>

表示変更

モード❷ボタンを押して選択して下さい。

データのリセット

モード❷ボタンを押して3秒間保持して下さい。(DST, TM, MAX, AVG, M-RPM, A-RPM DATA)

ホイール径の変更

(ODOモードのみ)

モード❷ボタンを押して5秒間保持して下さい。

C.D DST C.D TM モード変更

モード❷ボタンを押して5秒間保持して下さい。

C.D DST C.D TM モード変更終了

モード❷ボタンを押して3秒間保持して下さい。

オールクリア

セット④ボタンを押して下さい。

サイクルコンピューターの再起動操作

1.メインユニットにはバッテリーがセットされています。モード❷ボタンとセット④ボタンを同時に押し３秒間保持してメインユニットを再スタート、オールクリアして下さい。
重　要：サイクルコンピューターを使用する前に必ず再起動操作をして下さい。
再起動操作をしないとエラー表示が出ることがあります。
2.再起動操作で液晶画面は自動的に表示テストされます。
3.モード❷ボタンを押して画面の表示テスト終了させて下さい。"Km/h"が点滅します。

メインユニット装着／取外し感知機能

サイクルコンピューターには測定データを狂わせないためにメインユニットがブラケットから取り外すことを想定して装着、取外しを感知する機能があります。メインユニットはブラケットに装着されたときにのみホイールセンサーからの信号を受信します。

オート・スタート／ストップ、オート・パワーオン／オフ機能

1.サイクルコンピューターは自転車の走行時に自動的にデータ測定を始め、停車すると測定を止めます。データ測定を開始するとメインユニットの液晶画面に"　"マークが表示点滅します。
2.このサイクルコンピューターは電池の消耗を防ぐために２０分間データを計測しないと自動的に電源をオフにして"　"現在時刻を表示します。モード❷ボタンで押すと再び電源がオンになります。

データリセット

液晶表示が点滅するまでモード❷ボタンを押して下さい。サイクルコンピューターのＤＳＴ、ＴＭ、ＭＡＸ、ＡＶＧ、Ｍ－ＲＰＭ、Ａ－ＲＰＭデータが０リセットされます。

ホイール周長

● **正確なホイール周長の計測方法 (図. a)**
ホイールの空気バルブが最も低い位置に移動させて地面に最初の印を付けて下さい。
次にホイールの空気バルブが１回転するまで自転車を真っ直ぐに押して地面に2番目の印を付けて下さい。最後に最初と2番目の印間の距離を測定して下さい。この測定数値をホイール周長としてサイクルコンピュータに入力して下さい。
●**ホイール周長早見表 (図.b): 早見表から適当なホイール周長数値を参照して下さい。**

メインユニットの電池交換

1. 電池が消耗すると"　"マークがメインユニットの液晶画面に表示されます。
2.数日中に新しいバッテリーと交換してください。
3.すべての測定データは電池交換により消去されます。ＯＤＯ（積算走行距離）データも消去されますので引き続き積算走行距離を継続したい場合は電池交換をする前にＯＤＯデータを別途記録し、メインユニット再設定時に積算走行距離の初期設定画面でお好みの数値を設定して下さい。
4. 新しいＣＲ２０３２電池と交換してメインユニットの再設定作業をして下さい。

機　能

: 走行速度　0.0 – 199.9 Km/h or 120.0 Mile/h +/- 1%
1. 走行速度は常にメインユニット液晶画面の上部左側に表示されます。最高走行速度は、199 km/h または 120.0 M/h（ホイール径２４インチ以上）まで表示可能。
2. 走行を停止すると、バイク１の設定では４秒間、バイク２の設定では２秒間継続して走行速度を計測して止まります。

DST: 走行距離　0.00 – 999.99 Km or Miles +/- 0.1%
DST機能は、走行距離データを最後にリセットしてからの走行距離を積算して表示します。

TM: 乗車時間 0　00H:00M:00S-99H:59M:59S
1. TM乗車時間は、乗車時間を最後にリセットしてからの乗車時間を積算して表示します。
2.走行を開始すると自動的に計測を開始します。走行を停止すると、バイク１の設定では４秒間、バイク２の設定では２秒間継続して乗車時間を計測して止まりますが自動的に乗車時間はこれらの秒数を引いた時間が表示されます。

MAX: 最高走行速度　0.0 – 199.9 Km/h or 120.0 Mile/h +/- 1%
MAX最高速度は、最後にリセットしてからの最高速度を表示します。

AVG: 平均速度　0.0 – 199.9 Km/h / 0.0 – 120.0Mile/h +/- 0.1%
1. AVG平均速度は、DST÷TM により算出しています。最後にリセットしてから現在までの平均速度を表示します。
2. TM乗車時間が４秒に満たない場合は"0　0"を表示します。
3. TM乗車時間が４秒以上の場合は１秒間隔で平均速度を表示更新します。
4. TM乗車時間が１００時間以上、またはDST走行距離が１０００ｋｍ以上の場合は"Error"エラーを表示します。メインユニットをリセットして下さい。

ODO: ① ODO-1/ ② ODO-2　0.0 – 999999 Km or Miles +/- 0.1%
1.ODO積算走行距離は、走行した距離を積算していきます。バイク１またはバイク２は別々に走行距離を積算します。
2.ODO1、ＯＤＯ２のデータはメインユニットのリセット操作では０リセットはできません。

CLOCK: 時刻表示　12HR AM/PM or 24HR Clock
1:00:00 ~12:59:59 AM/PM or 0:00:00 ~ 23:59:59 +/- 0.003%
現在時刻を１２時間ＡＭ／ＰＭまたは２４時間形式で表示します。

RPM: ケイデンス RPM (１分間のペダル回転数)　0-199rpm +/- 0.1%
1. ケイデンスRPMは、現在の１分間あたりのペダル回転数を表示します。メインユニット液晶画面の上部右側に毎秒更新されたペダル回転数が表示されます。
2. ０～１９９ＲＰＭの範囲で１ＲＰＭ単位で表示されます。ペダルの回転を止めてから４秒後に０リセットされます。

AVG_RPM: 平均ケイデンス　0-199rpm +/- 1.5%
1. 平均ケイデンスは、総ペダル回転数÷総ペダル時間により算出されホイールの回転とは独立しています。最後にリセットされてから現在までのペダル時間により算出され毎秒更新されます。
2. ペダル時間が６秒に満たないまたは総ペダル時間が１０秒未満の場合に"０"が表示されます。
3. 総ペダル回転数が１００万回または総ペダル時間が１００時間以上いなると"Ｅｒｒｏｒ"が表示されます。このときはメインユニットをリセットして下さい。

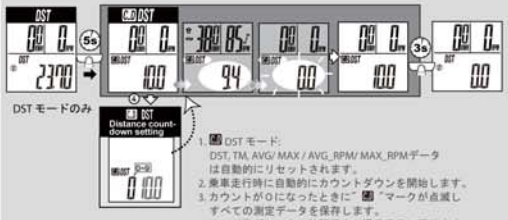
MAX_RPM: 最高ケイデンス　0-199rpm +/- 1.5%
1. 最後にリセットしてからの最高ケイデンスを表示します。
2. 最高ケイデンスの表示範囲は、０～１９９ｒｐｍの範囲です。

/8: スピードペイサー
現在の走行速度が平均速度よりも速い場合"　"スピードペイサー矢印が点滅します。
遅い場合は"　"スピードペイサー矢印が表示されます。
＊ 備　考：すべての測定データは毎秒更新されます。

特 別 機 能

DST: 走行距離カウントダウン　0.0~999.9 Km or miles
カウンターが０になったときにＴＭ、ＡＶＧ、ＭＡＸ、ＡＶＧ－ＲＰＭ、ＭＡＸ－ＲＰＭデータを保存します。
1.アラーム機能
例：カウンターを３０ｋｍに設定した場合、走行距離が３０ｋｍになると"　"マークが表示されます。
2. テスト
例：テスト距離を１Ｋｍに設定した場合、自動的に走行距離が１Ｋｍに達するとＴＭ、ＡＶＧ、ＭＡＸ、ＡＶＧ－ＲＰＭデータを保存します。

TM: 乗車時間カウントダウン　0H:00M:00S~99H:59M:59S
1. 乗車時間カウントダウン機能は、乗車時間測定をカウントアップからカウントダウン仕様に変換します。またカウンターが０になったときに"　"マークが点滅しＤＳＴ、ＡＶＧ、ＭＡＸ、ＡＶＧ－ＲＰＭ、ＭＡＸ－ＲＰＭデータを保存します。
2. 乗車時間カウントダウン機能の操作は、走行距離カウントダウンと同じです。



トラブルシューティング

下記の注意事項をご確認下さい。

問題点	確 認 項 目	解 決 方 法
液晶が表示されない	1. バッテリー残量は正常？ 2. バッテリー装着方法は正常？	1. バッテリー交換 する 2. ＋極をキャップ側に向くように装着する
速度が表示されない 表示が正しくない	1. メインユニット設定画面では？ 2. センサーとマグネットの設置距離は正常？ 3. ホイール周長は正常？ 4. センサーの角度、距離は正常？ 5. センサー側のバッテリー残量は？ 6. 電波障害になるものが近くにある？	1. 設定手順を参照して設定を完了する 2. 設定手順図 C-1、D-4を参照し再調整する 3. ホイール周長設定手順を参照する 4. 設定手順図 D-3 を参照し再調整する 5. 新しい電池に交換する 6. 電波障害の原因を除去する
異常表示		
液晶画面が真っ黒	直射日光の下に長時間放置していない？	メインユニット設定手順を参照し再起動する メインユニットを日陰に戻して再確認する
液晶表示が遅い	気温が０℃以下では？	気温が上昇すると正常に戻る

注 意 事 項

1. サイクルコンピューターは雨の中でも使用可能ですが防水性はありません。
2. 直射日光下が当たる場所にメインユニットを放置しないで下さい。
3. メインユニット及びセンサー等の分解はしないで下さい。
4. センサーとマグネットの設置位置、距離を定期的に確認して下さい。
5. メインユニットとブラケットの接触部分を定期的に掃除して下さい。
6. メインユニット等が汚れてもシンナー、アルコール、ベンジン等の溶剤で拭かないで下さい。
7. 常に走行中は前方に注意して走行して下さい。

センサー	: ○	非接触マグネット式センサー
バッテリー仕様	: ○	3V バッテリー x 1 (CR2032)、毎日1.5時間使用／２年間使用可能
バッテリー寿命	: ○	約３年（但し、工場出荷時の電池はこれよりも短くなります。）
寸法／重量	: ○	45.8 x 54 x 17.2mm / 33.15g
ホイール周長	: ○	0mm - 3999mm (1mm 単位)
使用気温	: ○	0° C ~ 50° C (32° F ~ 122° F)
保持気温	: ○	- 10° C ~ 60° C (14° F ~ 140° F)